

2021年11月15日

報道各位

株式会社三菱地所設計

## 追手門学院大学 ACADEMIC-ARK アルカシア建築賞 2021 最優秀賞受賞のお知らせ



©MASAO NISHIKAWA

三菱地所設計（所在地：東京都千代田区、代表取締役社長：林 総一郎）は、アジア建築家評議会（アルカシア）※1が主催する、アルカシア建築賞 2021（AAA 賞：ARCASIA Awards For Architecture）において、「追手門学院大学 ACADEMIC-ARK（須部 恭浩・姉齒 景介）」が、日本からの応募作品としては唯一、最優秀賞であるゴールドメダルを受賞しましたので、お知らせします。

今年は15か国以上から224件の応募があり、厳正な審査の結果、10月31日、中国・上海で行われた表彰式にて、幅広い建築カテゴリー※2より選出された25件のファイナリストの中から、最優秀賞（5件）が発表されました。「追手門学院大学 ACADEMIC-ARK」は、今回の賞のほかにも、国内外の著名な建築賞に輝き、高い評価を受けています。

三菱地所設計は、常に進化し、創造力と技術力で、真に豊かな環境、文化をつくり続けます。

※1 ARCASIA：Architects Regional Council ASIA 会長：Rita Soh。JIA(日本建築家協会)をはじめ、アジアの21の国と地域の建築家協会によって構成される。

〈 本件に関するお問合せ先 〉

株式会社三菱地所設計 広報室 TEL:03-3287-5001

〒100-0005 東京都千代田区丸の内2-5-1 丸の内二丁目ビル

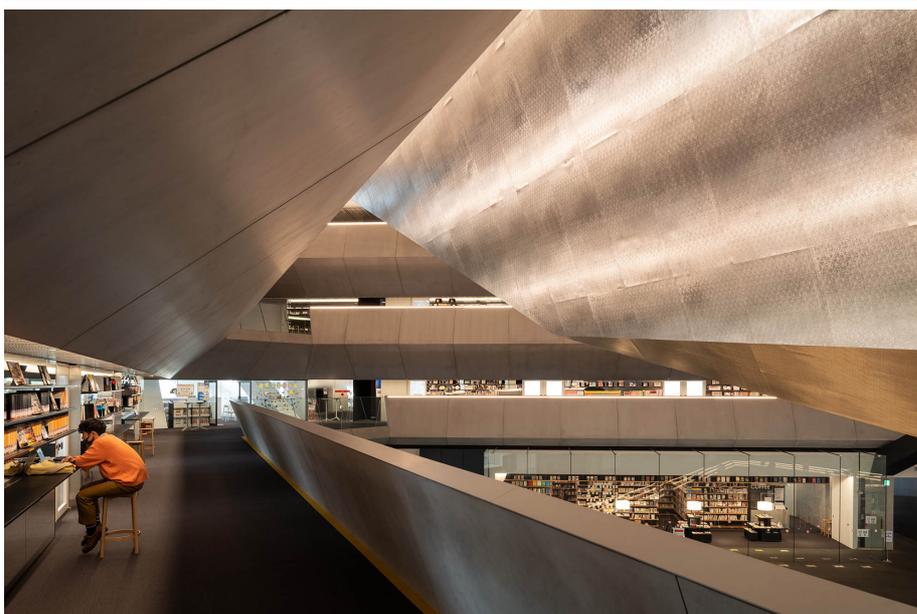
人を、想う力。街を、想う力。

**三菱地所グループ**



コミュニケーションスペース

©SHINKENCHIKU SHA

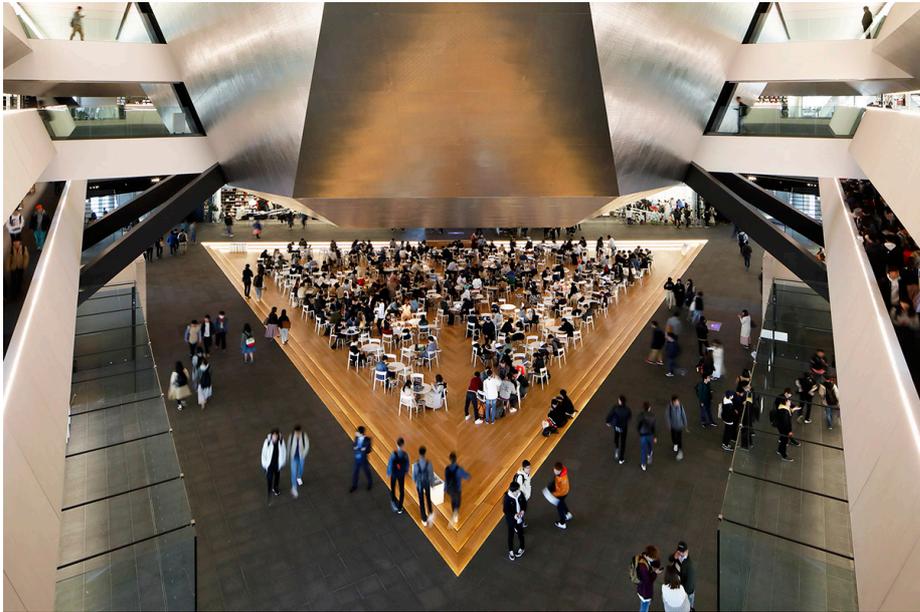


回廊図書館

©MASAO NISHIKAWA

### コンセプト：

学院設立 130 周年を機に、既存キャンパスより駅に近いこの地に所属学生の約半数が学ぶ新たなキャンパスをつくる計画。学びの場へ行かずとも知識を得ることができるネット時代の大学のあるべき姿を考え、人を集約する一棟とし、学びの賑わいを集約するため、最小の点で構成される三角形で平面を構成した。各頂点は大きく斜めに削り、人を誘い込むとともに、内部中央に図書館を浮遊させた強い象徴性を持つ非日常的な空間をつくり、その下に学生が自然と集まる講堂を設けた。図書館の周囲を書架のある散策道や教室で包み込み、図書館と散策道の間に設けた大きな吹き抜けによって、ここで繰り広げられる学びの賑わいを視覚化している。外装は学院の花である桜をモチーフにしたステンレスキャスト製の環境負荷を低減するスクリーンで覆っており、学院のアイデンティティを表現するとともに、夜間はライトアップし、地域の「行灯」としての機能を果たす。



学生と地域のための  
リビング

©NAOOMI KUROSUMI



SKYGARDEN STUDIO

©NAOOMI KUROSUMI



塀をなくした正門

©MASAO NISHIKAWA



図書館を内包した学校用途だけでなく、地域の核として自由に建物を回遊できる周辺環境

©MASAO  
NISHIKAWA

### 建築概要：

竣工年 2019年  
 所在地 大阪府茨木市  
 用途 教育施設 | 図書館・教室・ホール  
 敷地面積 64,415 m<sup>2</sup>  
 延床面積 20,409 m<sup>2</sup>  
 階数 地上5階  
 構造 S造 + SRC造



賞状以外にゴールドメダルが授与される

### 受賞歴：

アルカシア建築賞 2021 最優秀賞 AAA AWARD (ARCASIA Awards For Architecture) 2021 GOLD MEDAL

第61回BCS賞

第29回AACAA賞 奨励賞

第32回JSCA賞 作品賞

第7回鈴木禎次賞 優秀賞

ICONIC AWARDS 2020(ドイツ) Innovative Architecture

THE PLAN AWARD 2020 (イタリア) Education

ARCHITECTURE MASTER PRIZE 2020 (アメリカ) Architectural Design, Educational Building

北米照明学会賞 2021 Illumination Awards-Merit Award

以上